

情報発信体制の整備

【機能分担】

県立がんセンター	東北大学病院
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県におけるがん情報発信の拠点（がん医療情報のネットワーク化） ・ 県内相談支援センターのネットワーク化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北地区における大学病院間連携を中心としたネットワークの活用

【現在の取り組み状況】

○相談支援センターネットワーク事業

・ 県内拠点病院による相談支援センター連絡会議を設置。情報の共有化、相互相談、相談事例の照会等を実施。

○東北がん評議会、東北6大学による意見交換会、東北がん診療連携ネットワーク協議会（準備委員会）等を開催・参加。

→ 当県の代表的立場で県外医療機関との情報交換、東北地方規模でのネットワーク体制の整備を進めている。

【今後の事業計画】

●がん情報発信中核機関整備事業 **※県事業**

・ 県立がんセンターにおける情報発信機能の充実化。

→ がん医療に関する情報の集約化、整理を行い、がん情報提供及びネットワークの拠点としての体制を整備する。

●相談支援センター機能整備事業 **※県事業**

・ 相談支援センターが設置されていない医療圏において、地域の中核的病院に相談支援センターを設置する。（※立ち上げにあたって、県立がんセンターが実地指導等の協力。）

・ 県内のがん医療機関における相談員養成のための研修会の実施。（2回/年）

●がん患者・家族サポート推進会議事業 **※県事業**

・ 現在の相談支援センターの連絡会議に加え、県立がんセンターを中心とする県内相談支援センターとがん患者会及び家族会との連絡会議を開催し、がん情報の提供の仕方について継続的に検討する。（相談支援センター連絡会議、患者会・家族会連絡会議あわせて4回程度/年）

【取り組みの方向性】

◆がん情報については、現在、県立がんセンターが進めている県内がん医療情報のデータベース化、ネットワーク化（平成20年度中に公開予定）をはじめ、同センターのがん情報発信機能を強化していく。

◆がん情報の均てん化のため、県の事業として、拠点病院空白医療圏への相談支援センターの設置、患者会・家族会との連携会議を推進する。

→現在の相談支援センター連絡会議との連携による全県的な情報支援・提供体制を整備する。

◆東北大学病院が進める東北地方の広域的ながん医療ネットワーク等を活用し、県内外の情報収集、ネットワーク整備を進める。（→県立がんセンターの情報発信機能をサポート。）

現状がん治療の連携体制

当県におけるがん診療体制の整備にあたっては、既述のとおり、「宮城県がん診療連携協議会」において、県立がんセンター及び東北大学病院が治療分野ごとに役割分担することにより、効率的な各種研修の開催、放射線治療体制の検討・調整、化学療法標準化の推進、緩和ケアチームのネットワーク化等、分野ごとにそれぞれの病院機能を活かした全県的な取り組みを行っている。

さらに、県立がんセンターは、県内唯一のがん専門病院として、拠点病院を中心とした県内におけるがん医療のネットワーク化を推進するとともに、当県におけるがん情報の拠点的役割を担っている。今後、緩和ケアチーム、相談支援センター等のネットワークを中心に、県内拠点病院のみならず、その他地域の医療機関、がん患者・家族会等との連携を強化し、がん情報提供の中核的機関としての機能を充実させていく。

一方、東北大学病院については、人材育成・教育面において県内の病院の先導的立場にあり、また、医師派遣・診療支援により、県内がん診療体制の整備・維持に不可欠な存在となっている。

特に、現在も実施している研修、各種カンファレンス等により、県内病院に対する教育的機能を発揮しているが、今後これらに関する病院内の連携及び県内病院間のネットワークを強化し、より効率的な実施により、県内医療機関における教育の均てん化を促進していく。

また、「東北がんプロフェッショナル養成プラン」が今年度から開始されたことにより、今後、人材育成機能は格段に強化され、当県のがん診療体制を整備するにおいて担う役割は従来以上に大きくなる。

以上のように、今後も、「情報・ネットワークの拠点」としての県立がんセンター、「人材・教育の拠点」としての東北大学病院が機能分担し、より特化した機能強化を進めていくことで、県全体としてのがん診療体制を整備していく。

<宮城がん診療連携協議会 研修等実施状況>

【放射線関係】

開催日	テーマ・内容等	対象	参加者数
H19. 2. 28	放射線治療研修（講義）	医師，看護師	20名
H19. 3. 13	〃（講義，実地）	放射線技師	14名
H19. 7. 28	〃（講義，実地）	放射線技師	40名
H19. 8. 30	〃（講義）	医師	20名
H19. 9. 8	〃（講義）	医師，看護師，放射線技師	60名

【化学療法関係】

開催日	テーマ・内容等	対象	参加者数
H19. 4. 25	化学療法標準化研修	医師，薬剤師	20名
H18. 9. 21	抗がん剤の適正使用について	医師，看護師，薬剤師	75名
H18. 11. 10	外来化学療法等について	医師，看護師，薬剤師	37名
H19. 1. 27	乳がんにおける化学療法	医師，看護師，薬剤師	30名
H19. 2～3 3日間×4回	がん薬物療法3日間研修	医師，看護師，薬剤師	12名
H19. 7. 13	胃がん・大腸がんにおける化学療法	医師，看護師，薬剤師	81名
H19. 7. 24	乳がんにおける化学療法	医師，看護師，薬剤師	48名

【緩和ケア関係】

開催日	テーマ・内容等	対象	参加者数
H18. 9. 21	抗がん剤の適正使用	医師，薬剤師等	57名
H18. 9. 29	緩和ケアセンターについて	医療従事者全般	55名
H19. 2～3 3日間×3回	緩和ケア医療研修会	医師，看護師，MSW，薬剤師	7名
H19. 2. 20	疼痛治療について	薬剤師	39名
H19. 3. 26	疼痛治療について	医師，看護師	35名
H19. 4. 19	在宅医療について	医療従事者全般	49名
H19. 8. 2	緩和ケアチームの活動状況について （仙台医療センター）	医師，看護師，薬剤師	15名
H19. 10. 12	ホスピスケアについて	医師，看護師	30名

